

【お知らせ】

・「富弘カレンダ12023」をお申し込みの方には引き渡しが始まっています。各礼拝後に3階でお渡しします。代金と引き換えになるのでご用意ください。日曜日に教会に来会できない方はご連絡ください。

・「下半期感謝献金(教団扱い)」「クリスマス献金」の趣意書をお届けしました。それぞれ趣意書をご覧ください。教団また教会の必要があります。必要な金額が満たされるようにお祈りください。日頃からの皆さまの尊い献金を感謝します。

・週報の発送について

12月を迎え世の中も慌ただしさを増しています。年の暮れで配送業者も忙しい季節となり、週報の到着に通常よりも時間がかかる場合が見られます。教会ではいつもの通り発送しているので、事情をご理解くださるようお願い致します。

【消息 報告】

・有志ボランティアによる無料食品配布の報告 12/3(土)に実施。後日に渡した方も含めて50組60数名に提供しました。ご支援とお祈りをありがとうございます。ボランティアを開始してから1年経ち、受け取る方は1年前(36組)に比べて約40%増となっています。寄付と共に地域に浸透してきています。

先日、社協に、掃除機が故障して困りとの相談がありました。提供できるものがある方は山口光男兄までご一報を。

【新型コロナウイルス対応】

《礼拝出席は事前申込にご協力を》

礼拝出席者と人数の把握のため、事前の申込をお願い致します。教会ホームページの専用サイト、メール、電話、FAXにてお申し込みください。

《礼拝堂での出席を希望される方へ》

※体調がすぐれないときや倦怠感がある場合は出席を控えてください。

※換気を行っています。暖房も使用してありますが窓を開けているので風が入ります。コートの着用やカイロの使用など、防寒には各自でご注意ください。膝掛けの貸し出しもご利用ください。

私のたのましいは主をあがめ、私の霊は私の救い主である神をたたえます。

ルカの福音書 一章四六～五五節、一章二六～三八節

今朝は『マリアの賛歌』と題してメッセージを取り次ぎます。

マリアの賛歌からは、彼女の心霊的経験から生じた信仰の驚きと喜びが溢れる感動が伝わってきます。この賛歌は『旧約聖書の最期の調べが、イエスの誕生の序曲となる』と、実にふさわしいとありました。マリアにとって受胎がイエスの誕生の序曲とすると、当然、母としてたどる信仰に生きた終曲・フィナーレ最終楽章があります。

第一の楽章は、受胎と神への賛歌です。

「私たましい、私の霊」は、彼女の全人格が込められた表現であり、聖霊による受胎告知を受け入れた信仰が賛歌の源泉と見えます。

第二の楽章は、具体的な神のあわれみに対する喜びと感謝の賛歌です。

この賛歌には「あわれみ」が二回述べられており、動詞的な救おうとする行為を表わしています。その「あわれみ」は、

- ①卑しいはしために対するもの
- ②大きなことをしてくださった
- ③どの時代の人も幸いな人と言われること
- ④主を恐れる者に対する
- ⑤自らの民への約束をいつまでも忘れないなどが歌われています。

第三の楽章は、聖書の「あわれみ」です。これはヘブル語で「ラハミーム」で「胎」を表わす同じ語の「ヘム」から派生した、母の胎から生まれた：わが子への切なる切れない愛と思いやりの感情と言います。

不忠実な神の民に対するあわれみ(詩篇七八・三八参照)「自分の胎の子をあわれまないだろうか。：このわたしはあなたを忘れない」

神。(イザヤ五九・十五参照)

『神のあわれみは、神の偉大なる愛を源泉とする。』(一聖徒の言葉)

第四は最終楽章「フィナーレ」です。祝福を受けた母マリアの信仰です。彼女の最期の登場は福音書の終わりと使徒の働きを始めです。シメオンの予言通り、彼女「自身の心さえも、剣が刺し貫くことになる」時がきて、マリアは御子イエスの十字架の傍に立たされました。死んで葬られ、甦えられ、天に帰還される御子イエスを見上げました。弟子たちと祈りを共にし、聖霊の傾注の場に居合わせたのは当然視されるでしょう。甦り生ける神の御子イエスは、今や人の胎を超え聖霊より人の心中に宿るお方となりました。歴史家は現代の教会をヨハネ黙示録三章の終わりの「冷たくもなく、熱くもない」ラオデキヤ教会の姿だと指摘します。戸の外に立ち、心の扉を叩くイエスの姿にいかに応えるか。アドベントに熟慮したい。英

12月18日 アドベント第3聖日

第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 荻野牧師 榊原姉

招 詞 イザヤ書49章13節

会衆賛美 静かに眠れる(1、3、4)
賛 美 大いなる方に(1回)

主の祈り

交 読 詩篇146篇5〜10節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 ルカの福音書

1章46〜55節

説 教 マリアの賛歌

田中英師

会衆賛美 みかむりをもなれば捨てて

(1、3、4節)

献 金

頌 栄 聖歌376

祝 禱

報告

後奏 感謝祈禱

【招 詞(主の招きのことば)】

イザヤ書49章13節「天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ。主がご自分の民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ。」アーメン

【本日の予定】

■礼拝映像ネット配信 9時から

■第1礼拝後、第2礼拝後

会堂清掃

■小学科礼拝 3階 10時半

お話し 穂谷牧師

※ホザナ会は午後にはクリスマス会

■バイブルカフェ 12時15分〜

■予算委員会 牧師室 13時半〜

■ホザナクリスマス 6階、3階 13時半〜

【本日の礼拝奉仕者】

■第1礼拝

礼拝祈禱 林修養生

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 林修養生

配信 林修養生

■第2礼拝

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 司会者

会場 受付

【次週礼拝説教】 荻野牧師

ヨハネの福音書

1章1〜14節

「人と共に住まれた主」

【蒲田シオン教会

クリスマススの主なスケジュール】

12 / 11 ホザナクリスマス

午後1時半〜 6階

12 / 18 子どもクリスマス

午後2時〜4時15分

12 / 24 クリスマスイヴ燭火礼拝

午後5時〜6時

※土曜日ということでは時間は例年

よりも早くに設定しています。

お時間のお間違いのないように

ご注意ください。

12 / 25 クリスマス礼拝

第1礼拝 午前9時〜

第2礼拝 午前11時〜

【年末年始の予定】

12 / 29 (木) 午前10時半〜

年末感謝祈禱会

一年の感謝の証しを分かち合いた
いと思えます。

2023 / 1 / 1 (日) 元旦・聖日礼拝

1 / 5 (木) オールシオンホザナ新年会

1 / 8 (日) 成人の祝い

1 / 9 (月・祝) 新年聖会 (教団主催)

街はあちこちがクリスマスの飾りに彩られています。一方、スーパーの店頭には鏡餅や門松などお正月用品も並んでいます。時期的に致し方ないですが、クリスマスでも正月でも使えるものはなんでも使う日本社会の商魂たくましさを感じます。

そのような切り替えは私たちにはありませんが、主の降誕を祝いつつ主と共に新しい年へと踏み出す心備えは大切にしたいところです。

デイポーシヨンのガイドや聖書通読の手引きを準備しながら新年を待ち望みましょう。

【取手教会 会堂建築】

取手教会の新会堂建設のために皆さまには尊いお祈りと献金を献げていただき感謝します。外構部分の工事など残っているところはありますが、建物は建て上がり新たな一歩が踏み出されました。

アドベント第1聖日11月27日に入堂式、その後、新会堂での初穂の聖日礼拝が献げられました。坂本牧師から感謝の報告を受けています。

講壇と椅子が海外からの取り寄せで、税関を通るのに手間取っているとのこと。お祈りください。

けれども、大きな事故もなく、また建築資材が高騰する中で予算の変更もなく進んできた中に、小さな群れを守り導く主の御手の守りを覚えます。私たちも祈りと献金によって主の業に加われたことを感謝し御名を崇めましょう。

来年3月に献堂式を予定しております。取手の地で福音宣教の働きがさらに展開されて救われる方が起こされるように続けて祈りましょう。